



小杉町3丁目東地区再開発ニュース

発行:小杉町3丁目東地区市街地再開発準備組合理事会

平成26年1月17日

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

昨年は、長かったデフレ経済もアベノミクス効果でようやく終わり、久しぶりの景気回復を予感させる明るいニュースが多く聞かれる一年となりました。

私たちの再開発事業も、準備組合の設立から6年余りが経過しました。この間、小杉エリアは大きく発展し、テレビなどのメディアでも多数取り上げられる話題の街になりました。

特に昨年は、駅直結の再開発ビルに中原図書館がオープンし、これは2013年川崎市10大ニュースのトップニュースに挙げられていました。また、お隣りの中央地区ももう間もなく完成が近づいています。

これらに続き、当地区の再開発事業が実現すれば、小杉駅前と府中街道を結ぶ幹線道路が全線にわたり開通するなど、小杉駅前のまちづくりに対する貢献は極めて大きいと考えております。一日も早い再開発事業の完成に向け、本年も、皆様の更なるご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

理事長 角川 榮喜



<環境アセス>評価書を提出しました

2012年8月に条例方法書の提出からスタートした環境アセス手続きは、任意説明会の開催→準備書の提出→説明会の開催→見解書の提出を経て、本年1月8日に評価書提出に至りました。今後は、事後調査として「工事中の調査」「竣工一年後の調査」「竣工三年後の調査」を行い、環境アセスの手続きが完了となります。

地権者勉強会のご報告

準備組合では、昨年9月に第一回地権者勉強会、11月に第二回地権者勉強会を開催しました。第一回勉強会は「再開発事業の基本的な仕組みと流れ」「家主と借家人の関係」「事業スケジュール」をテーマに、計15権利者18名の方に、第二回勉強会は「施設計画の検討状況」「税金」「評価・補償」をテーマに、計14権利者20名の方にご出席をいただきました。お忙しい中、多数の方にご出席いただきありがとうございました。

